

〈育てたい子供像〉
きれいな心の子
大きな夢もつ子
笑顔いっぱいの子

たかせの子



平成29年度 平成30年3月2日 (第13号)

3月(弥生) 今年度も残すところ1か月!

校長 宮崎新悟

3月(弥生)に入りました。2月に降り積もった雪も随分解けました。まだ寒い日もあると思いますが、確実に春が近づいてきています。

さて、平成29年度も残すところ1か月。卒業を祝う会も終わり、子供たちは今年度のまとめに取り組んでいます。各学年で学ぶべきことをしっかり学び、積み残しのないようにして進級できるように、指導の充実に努めたいと思っております。6年生は卒業まで約2週間となりました。小学校生活のまとめと中学校生活への準備に忙しい日々を送っています。卒業式の練習は今日から始まりました。卒業式は学校行事の中で最も大切に厳粛な行事の一つです。6年生の子供たちが、誇りと自信をもって巣立つことができるように、格調高く、素敵な卒業式にしたいと考えています。インフルエンザもまだ流行しています。各ご家庭におかれましては、子供たちがこれからも規則正しい生活が出来るよう、ご配慮をお願いいたします。



卒業を祝う会

卒業を祝う会(2月23日) 各学年の特色ある活動が素敵でした



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

2月23日(金)に開催した「卒業を祝う会」は、たくさんの保護者の方々、地域の方々にご来校いただき、温かい雰囲気の中で楽しく終えることができました。劇や演奏、踊りなど、工夫を凝らした各学年の出し物はどれも素晴らしく、普段の学習では見られない子供たちの姿を見ることができました。何よりも、一人一人が自分の役割を立派に果たし、とても良い表情をしていたことが嬉しかったです。また、忙しい中で時間を生み出して練習した先生方の合奏とパフォーマンス書道も新しい試みで、大いに盛り上がりました。




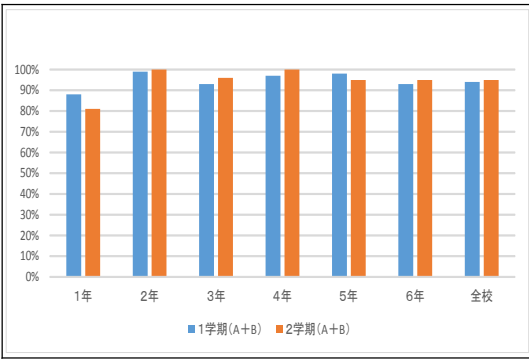
6年生は42名。男女の仲が良く、素直で、何事にも粘り強く取り組み、力強さも兼ね備えた頼りになる子供たちでした。そんな6年生のおかげで、29年度のたかせ小学校は、素晴らしい一年となりました。中学校でも、その雰囲気を大切にして、頑張ってもらいたいと思っています。

さて、「卒業を祝う会」の企画・運営、進行は5年生が務めてくれました。忙しい時期でしたが、私の期待以上の素晴らしい姿を見せてくれました。5年生の子供たちをはじめ、各学年の子供たちの頑張りを心から称賛するとともに、5年生担任の安達先生、寺林亜先生のきめ細かな指導、また、各担任の先生方のきめ細かな指導に対してお礼を言いたいと思います。

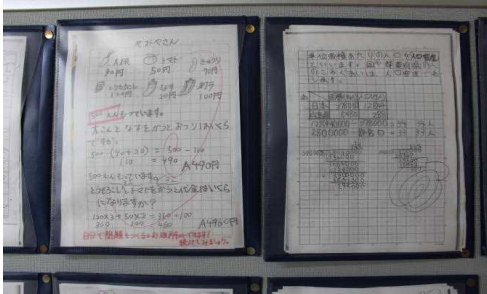

学校アクションプラン結果／成果と今後の取組

今年度の学校アクションプランについて、以下の通りお知らせします。今年度設定しました3つのアクションプラン、「あったか言葉の推進」、「学習習慣の定着」及び「望ましい生活習慣の育成」は、いずれも目標を達成することが出来ました。今後、次年度に向けて、取組を充実させたいと考えています。なお、この結果は2月23日に開催しました第2回学校評議員会でも資料として提出し、ご意見をいただきました。


1 「あったか言葉」の推進 (児童の自己評価結果／成果と今後の取組)

重点項目	【心】「きれいな心の子」……………感謝と思いやりの心をもつ子
重点課題	◆「あったか言葉」の推進 (好ましい人間関係づくり)
具体目標	自ら進んで「あったか言葉」を使うことができる児童の達成率80%以上
方 策 (取組)	<ul style="list-style-type: none"> 各学級で増やしたい「あったか言葉」を考え、全校に発表したり提示したりする。 「あったか言葉」に加えて、「あったかアクション (相手を思いやる行動)」のよさも意識できるよう、人権集会で紹介したり、プロジェクト委員会が中心となって見付けた「あったかアクション」を全校に広めたりする。
	  
	<p>【あったかポストの設置】 【あったか人権集会】 【あったか言葉カード】</p>
結 果	 <ul style="list-style-type: none"> 「あったか言葉」の全校の達成率 (A毎日使うことができた+B時々使うことができた) は、1学期は 94 %で、2学期は 95 %だった。また、A (毎日使うことができた) の全校の達成率は、2学期は 5 %上がり、50 %であった。
成 果 と 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 1学期に学級で増やしたい「あったか言葉」を考え、掲示物にまとめて教室や廊下に掲示することで、校内環境づくりにつながった。 2学期の人権集会では、「あったか言葉」や「あったかアクション」のよさを委員会で発表したり、「あったかすごろくゲーム」を縦割り班で楽しんだりすることを通し、全校の心の交流を図ることができた。 3学期は「あったかポスト」を設置し、各学年で見付けた「あったかアクション」をカードに書いて紹介し合った。それにより、「あったかアクション」への意識を高めることができた。 「あったか言葉」と「あったかアクション」を年度当初から、並行して取り組んでいく工夫が必要である。

2 学習習慣の定着

重点項目	【知】「大きな夢もつ子」……………目標をもって進んで学ぶ子							
重点課題	◆ 学習習慣の定着 (家庭学習の充実)							
具体目標	学習習慣チェックカード(自己評価)の児童の達成率90%以上							
方 策 (取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」の内容をより具体的にしたり、パワーアップノート(自主学習ノート)を用いたりしながら、学校と家庭が連携し、学習の習慣化を図っていく。 ・「学年×10分+10分」の家庭学習の継続を目標にし、自分の取組の様子を振り返りながら「学習習慣チェックカード」を用いて自己評価を行う。 ・家庭学習の取組について紹介するコーナーを設け、互いの取組のよさを参考にしながら、見通しをもって取り組めるようにしていく。 							
結 果	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の目当ての時間家庭学習に取り組んでいる児童が、ほとんどの学年で目標の90%を超えている。また、学期が進むにつれて達成した児童の割合が大きくなっていった。家庭学習としての自主学習が習慣化しつつある。 							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
1学期	99%	97%	89%	86%	93%	76%	90%	
2学期	99%	96%	97%	87%	93%	90%	93%	
3学期	100%	97%	98%	92%	88%	95%	95%	
								
	【ノートの紹介】							
成 果 と 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の「パワーアップノート」の取組は今年で3年目を迎え、子供たちの学習習慣の中にも定着が見られるようになってきた。 ・職員室前の「家庭学習パワーアップノート番付表」を掲示し、横綱に昇進した子供や、番付掲載率の高い学級をなどといった子供のがんばりをランチルームで紹介してきた。 ・家庭学習番付の掲載者は174名である(257名中、2月22日現在)。 ・放送室横の掲示板には、取り組みに工夫や努力の跡が見られるノートをコピーし、掲示して紹介した。さらに、3学期には学年便りを通じて、各学年の家庭学習の手本となる取組を紹介した。これらの働きかけにより、児童は意欲をもって取り組み、進んでパワーアップノートに取り組もうとするようになった。 ・今後は、パワーアップノートの使い方については、調べ学習や作文など創意工夫を生かしたノートづくりも推奨していく必要がある。来年度の初頭に、おすすめのコンテンツを教師の方からも提案したり、今年度の工夫されているノートを随時紹介したりして、広めていきたい。 							
								
	【家庭学習番付表】							

3 望ましい生活習慣の育成

重点項目	【体】「笑顔いっぱいの子」……………元気でたくましい体をもつ子						
重点課題	◆ 望ましい生活習慣の育成						
具体目標	・ゲーム使用・テレビ等の視聴時間についての「わが家のルール」を守っていく児童の達成率85%以上						
方 策 (取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム・テレビの視聴についての「テレビ・ゲーム、動画 守ろうわが家のルールウィーク」を実施して、望ましい生活習慣の定着を図る。その際、校区中学校と連携し、中学校の中間テストや期末テスト週間に合わせて取り組む。 ・毎週月曜日に実施する「早寝、健康生活調べ」や「ゲンキッズ作戦」の結果を家庭と共有し連携しながら、健康な生活への意識を高める。 ・学校保健委員会を開催し、長時間のテレビ視聴や動画、ゲーム機の使用が心身に及ぼす影響についての講演を聴き、メディアと上手に付き合うことの大切さに気付かせるようにする。 						
結 果	<p style="text-align: center;">わが家のルール達成率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>1 学期</th> <th>2 学期</th> <th>3 学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">80%</td> <td style="text-align: center;">83%</td> <td style="text-align: center;">85%</td> </tr> </tbody> </table>  <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの健康生活の向上とともに本校が取り組む学力向上、家庭学習の時間確保のためにも、自分で時間をコントロールできる力を高めていく必要がある。そこで、「テレビ・ゲーム、動画 守ろうわが家のルールウィーク」を校区中学校と連携し、中学校の中間テストや期末テスト週間に合わせて取り組んだ。その結果、たくさんの家庭の関心や協力を得られるようになったと思われる。しかし、休日の達成率は低くなりがちであり、2学期は目標達成率を下回っていた。そこで、テレビ・ゲーム以外のことを楽しみ、健康な過ごし方が工夫できるよう学級指導を行った。3学期には達成率が目標の85%となった。 ・学校保健委員会(10月)には、長時間のテレビ視聴や動画、ゲーム機の使用が脳に及ぼす影響(記憶力・集中力や体力低下、ストレスホルモンの過剰分泌、睡眠障害、依存性)等の講演を聴き、メディアと上手に付き合うことが必要であることに気付くことができたと思われる。さらに、保健だよりでの啓発、学級懇談会での話し合いを通して、保護者の理解も得られるようになってきた。 ・「早寝、健康生活調べ」の学級ごとの結果を分かりやすく全校に知らせた。「ゲンキッズ作戦」の結果については、よい点や改善点について保健だよりで保護者に知らせた。これらの取組により、健康な生活習慣を築いていこうとする子供や保護者の意識を高めている。 	1 学期	2 学期	3 学期	80%	83%	85%
1 学期	2 学期	3 学期					
80%	83%	85%					
成 果 と 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「テレビ・ゲーム、動画の視聴」では、6月と比べると、12月は、時間に気を付けている子供が増えた。特に2年生は、「1時間よりも少ない」という子供が6月よりもかなり増えた。しかし、高学年はゲームばかりでなく動画視聴もあり、生活習慣が崩れがちになる子供もいる。今後も、子供たちへの健康への関心を高め、保護者と連携をさらに深めて、望ましい生活習慣を築いていく必要がある。 						